

令和5年度足立区公金管理運用計画

1 運用計画策定の目的

会計管理者の管理する資金(歳計現金・歳入歳出外現金及び基金に属する現金)について、「足立区公金管理運用基準」に基づき、毎年度の計画として、具体的な管理・運用方法を策定する。

2 資金管理の具体的方法について

(1) 歳計現金・歳入歳出外現金

日々の支払や貸付に使用するため流動性が要求されることから、原則として指定金融機関の普通預金で運用する。

(2) 積立基金

ア 一括運用について

介護保険特別会計の介護保険給付準備基金も含め、17の基金を一括運用することにより効率性と流動性の向上を図っていく。

イ 債券での運用

令和5年2月に改訂された中期財政計画(令和5年度～10年度)により、今後5年間の基金残高は概ね半減となる見込みが示された。このため、各年度における運用計画は、当年度の積立・取崩予算の編成状況に留意し、中長期の流動性を損なわない範囲で債券による運用を行っていく。

10年のラダー型(※2)ポートフォリオ(※3)の構築は引き続き継続し、償還期間10年の債券を中心に運用する。購入する債券は地方債を中心とした、元本の償還及び利息の支払が確実な利付債券とする。

ウ 預金での運用

都市銀行、地方銀行、信託銀行、信用金庫等に預託を行う。ただし、各金融機関の信用力を見極め、リスクの分散に努める。

分散運用を図るうえで、必要に応じ、一金融機関あたりの預金額等の上限を設けるとともに、満期日を分散して流動性を確保する。

いずれの金融機関に預託する場合にも、譲渡性預金並びに大口定期預金で1年程度の範囲で運用する。

3 積立基金の状況

		(単位:百万円)			
基金名	4年度末 現在高見込	5年度		5年度末 現在高見込	
		当初積立	当初取崩		
財政調整基金	44,469	18	8,535	35,952	
減債基金	5,163	5	667	4,501	
その他の特定目的基金	129,020	957	18,076	111,901	
うち 主な 基金	公共施設建設資金積立基金	46,940	41	4,470	42,511
	地域福祉振興基金	4,325	16	1,966	2,375
	義務教育施設建設等資金積立基金	58,424	51	5,025	53,449
	竹の塚鉄道立体化及び関連都市計画 事業資金積立基金	2,283	3	993	1,293
	防災減災対策整備基金	6,648	6	1,028	5,627
合計		178,652	980	27,278	152,354

※ 『令和5年度予算編成のあらまし』71ページの「積立基金の状況（一般会計）」に介護保険特別会計にかかる介護保険給付準備基金分を加えて作成した。

※ 金額は、表示単位未満の端数調整をしていないので、加減した数値には一致しない場合がある。

4 積立基金のポートフォリオ

(1) 金融商品別ポートフォリオ

令和5年5月末見込

	預金	債券
全基金	49%	51%



令和6年5月末見込

	預金	債券
全基金	50%	50%

(2) 金融機関別ポートフォリオ

令和5年5月末見込

	都市銀行	信託銀行	地方銀行	信用金庫
預金	99%	0%	0%	1%



令和6年5月末見込

	都市銀行	信託銀行	地方銀行	信用金庫
預金	99%	0%	0%	1%

(3) 債券別ポートフォリオ

令和5年5月末見込

	国債	政府保証債	地方債
債券	0%	3%	97%



令和6年5月末見込

	国債	政府保証債	地方債
債券	0%	1%	99%

5 運用計画の見直しと実施

この計画は、必要に応じて見直しを行うものとする。

【語句の説明】

※1 キャッシュフロー・マッチング

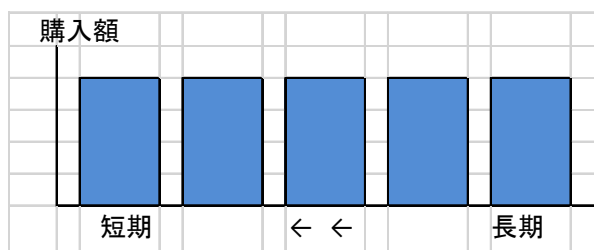
将来の支払い額が確定している取崩（予算への繰入れ）のキャッシュフローと等しいキャッシュフローが得られるように債券を運用する方法のこと。

※2 ラダー型

毎年、同額の償還が到来するように債券を運用する方法のこと。

※3 ポートフォリオ

金融資産の組み合わせのことをいう。



ラダー型ポートフォリオ

以上